



◇学習指導過程には、特に決められた形式はない。教師の指導の意図や教材の効果的な活用などに合わせて弾力的に扱うなどの工夫をする。また生徒の発達の段階や特性等を考慮し、指導のねらいに即して、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習を適切に取り入れるなど指導方法を工夫する。

学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
<p>◇生徒の立場で書く。</p> <p>1 〈導入〉</p> <p>◇導入はねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に、自己を見つめる動機付けを図る段階</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題に関わる問題意識をもたせる</li> <li>・教材の内容に興味や関心をもたせる</li> </ul> <p>など</p> <p>2 〈展開〉</p> <p>◇展開は、生徒一人一人がねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、道徳的価値や人間としての生き方について自覚を深める段階</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実態と教材の特質をpushした発問などで展開する</li> </ul> <p>など</p> <p>3 〈終末〉</p> <p>◇終末は、今後の発展につなぐ段階</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を通して考えたことや新たに分かったことの確かめなどをする</li> <li>・これからへの思いや課題について考えたりする</li> </ul> <p>など</p>	<p>◇指導者と生徒の立場で書く。</p> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇発問に対して、予想される生徒の反応例を書く。</li> </ul> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇発問の工夫                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・考える必然性や切実感のある発問</li> <li>・自由な思考を促す発問</li> <li>・物事を多面的・多角的に考えたりする発問</li> </ul> </li> </ul> <p>など</p> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇中心的な発問には、◎印などを使って際立たせる。</li> </ul>	<p>◇指導者の立場で書く。</p> <p>◇導入の工夫例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・類似の体験を想起</li> <li>・教材に関する写真、映像、新聞記事などの利用</li> </ul> <p>◇教材を提示する工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による読み聞かせ（紙芝居・影絵など）</li> <li>・ビデオの映像</li> </ul> <p>など</p> <p>◇留意すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動を通して、生徒が自分との関わりで道徳的価値を理解したり、物事を多面的・多角的に考えたりできるような学習活動を取り入れる。</li> </ul> <p>例：話し合いの工夫（討議形式、ペアでの対話など）                  ；書く活動の工夫                  ；表現活動の工夫（役割演技、動作化など）</p> <p>◇終末の工夫</p> <p>例：説話の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の体験や願い、生徒の日常生活における身近な話題等</li> </ul>

〈評価の視点〉

◇道徳科の評価は、指導のねらいと関わりにおいて、生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を様々な方法で捉えて一人一人の生徒の成長を促すとともに、それによって自らの指導を評価し改善に努めることが大切である。

※評価方法例：観察（表情）、発言・つぶやき、ワークシート・ノート、質問紙 など

例：○生徒が道徳的価値の理解を自分自身との関わりで考え、意欲をもって学習に参加している。  
 ○生徒が一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展している。